令和３年　二学期始業式　式辞（R3.8.23）

今回は、放送による始業式といたしました。本来であれば皆さんの元気な姿を拝見しながらの儀式としたかったのですが、ご理解いただきたいと思います。
さて、令和３年度の二学期を始めるにあたり大切なお話を三ついたします。

一つ目のお話は、一学期終業式の確認です。
一学期の終わりに三つのお願いについて確認しました。
「なぜ、学ぶのか？について、自分なりの答えを見つけること」
「夢を持ち、一日一日を大切に積み重ね継続すること」
「自分の命を大切にし、同じように他人の命を大切にすること」
そして、最後に、真っ白なジグソーパズルを人生に例え、夢を抱き続ける大切さについてお話ししましたね。思い出すことができますか？この時のお話は、ホームページに公開していますので、忘れた生徒は確認してみてください。

二つ目は、８月６日・９日・１５日です。この三つの日付が何の日か気づいた生徒はいますか？
８月６日は広島の原爆、９日は長崎の原爆、１５日は終戦の日です。この数字・日付は、日本人にとっては決して忘れてはならない日にちです。
「愚者は経験に学び、賢者は歴史に学ぶ。そして聖人は経験から悟る」という言葉があります。説明を加えると、愚か者は経験しないとわからない。賢いものは経験しなくとも歴史や他の出来事から学び対応できる。聖なる人は、少しの経験からも多くのことを学び取り、異なる事象に対しても学びを生かすことができるようになっているということ。
いずれにせよ、戦争に限らず、今回のこのコロナによって引き起こされる問題からも私たち人類は多くのことを学ばなければならないようです。

そこで最後はコロナのお話です。
報道等により皆さんもご承知のように、今回流行しているデルタ株はこれまでと全く違った様相を見せています。まず、感染の主流が皆さんのような若者や働き盛りの年代であるということ。今日、この瞬間にも、感染が広がっているかもしれないということです。学校や県教育委員会の示す感染症対策については、クラスで詳細についてお話していただくこととしてありますので、しっかりとお話を聞いてください。
私からは、コロナ対策として、七高 GP・柏葉プライドに掲げた「考え抜く力」について確認したいと思います。GP では、次のことを評価目標と掲げています。

① **想像力を働かせていろいろなこと（目に見えないことも）に興味関心を持つこと**
⇒ 今、この世の中で何が起きているのか？想像しましょう。ニュース報道等に関心を持ってください。

② **様々な事象について問題意識を持ち、常に「自分事（じぶんごと）」として考えることができる。**
⇒ 昨日、あるお医者さんがこんな話をしていました。遅くまで訪問診療をして病院に戻るときに、酒場で明かりがついて騒いでいる人たちもいる。自分たちが人の命を救おうとしているのはいったい何なのだろう？

③ **様々な事象・問題について比較・分類・整理（具体的・抽象的に整理）し、仮説を立てて考察を重ね、課題を見出すことができる。**
⇒ 政府の対応、自治体の対応、専門家の意見、起きていることをしっかり整理してみましょう。

④ **課題解決に向け、創造力をもち、柔軟かつ粘り強く考え抜き、真理を発見（新たな提案を）することができる**
⇒ 高校生として、七戸高校の生徒として、そして七戸高校として何ができるのか考えてみましょう。

最後になりますが、皆さん、夏季休業中はどのように過ごされましたか？この夏は水害等もあり大変な思いをした生徒、ご家族の方もいることでしょう。
二学期は皆さんが健康でそれぞれの目標を一つ一つ達成する実りある学期となるよう、教職員と生徒会、生徒みんなで学校を創って行きたいと強く願っております。

令和３年８月２３日
青森県立七戸高等学校
校 長　森田　勝博